

留学報告書

記入日: 2014年02月10日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アデレード大学 現地言語: The University of Adelaide
留学期間	2013年07月～2013年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年12月11日
明治大学卒業予定年	2015年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:3月上旬～7月下旬 2学期:8月上旬～11月下旬
学生数	約30,000人
創立年	1874年

留学費用項目	現地通貨(AU\$)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のためなし
宿舍費	4,320	432,000円	
食費	1,000	100,000円	
図書費	300	30,000円	
学用品費	100	10,000円	持参のものもあり
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	約900	約90,000円	
渡航旅費	約1200	約120,000円	
雑費	2,000	200,000円	小旅行等
その他	1,000	100,000円	交際費
合計	10,820	1,082,000円	

渡航関連

渡航経路:東京-クアラルンプール-アデレード

渡航費用

チケットの種類 往復チケット

往路

復路

合計 約 120,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

マレーシア航空、地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

インターネットで探していたところ、学生寮のエージェントがあることを知った。(UniLodge)
到着後、オフィスを訪ねて相談した。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

・留学前にウェルカムパッケージという重要な情報が入ったメールが送られてきたが、僕はスルーしたため、自力で何とかするしかなかった。部屋を見てから決めたいという人のために、大学側が最初の一週間だけ格安で一時的な寮を提供してくれるというサービスも含まれていたらしいが、完全にスルーしたためそのサービスも受けられず、大変苦労した。

・滞在先は、最終的に市内から歩いて20分ぐらいのところにある、少し古めの学生寮に決めた。基本的にオーストラリアは全てが高く、予算も少なかったため、完全に値段で決めた。実際安かったため設備は少し古かったが、寮には僕しか日本人がいなかったため、語学的には素晴らしい環境だった。

・とりあえず、大学からのメールは逐一チェックし、サポートを受けながら実際に足を運んで決めるのがいいと思う。ホームステイもいいと思うが、門限などで自由が利かなかったりするので、僕はあまりおすすめしない。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

基本的に同じ留学生の友達。相談窓口もあるが、僕は利用しなかった。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

メンターと呼ばれる留学生サポート役の現地の学生がおり、彼らが教えてくれた。

東京より治安はいいと思う。犯罪に巻き込まれたことはなかった。しかし、油断は禁物。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

・寮のインターネットはパケット制だった。50GBで\$180 だった気がする。接続環境はあまり良くない。一月に一回はつながらない時がある。

・携帯は日本在住のオーストラリア人に借りて、向こうでSIMカードを買った。一月月\$30で問題なく使用できる。携帯は不可欠だと思う。

・町の中のWi-fiは、ファストフード店以外は接続良好だと思う。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポート。

オーストラリアの銀行の口座も持っていた。オーストラリアでの口座開設に関してはどちらでもいいと思うが、あって損はない。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし。日本人がやっている雑貨屋があり、大抵そこで手に入る。(割高)

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし。家族や友人との相談。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
僕は12月11日に帰国したが、周りに遅れを取ったとは感じなかった。しかし、留学先の勉強の達成感などで帰ってからある種の燃え尽き症候群になってしまい、すぐに就職活動モードに切り替えることができなかった。12月に帰国される方は、帰国前にインターネットで就活サイトを見るなどしてモチベーションを上げてほしいと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Australia in the global economy	世界経済の中のオーストラリア
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義週2時間、チュートリアル週1時間
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Dr Ralph Bayer
授業内容	オーストラリアの歴史、経済の授業
試験・課題など	・個人課題(字数指定なしだがほしい 800~1200 語)、4 回中 2 回がマークされる。4 回全部やらなくてよい。25 点分 ・グループ課題(字数指定なしだがほしい 2000 語~3000 語)、2 回中 1 回がマークされる。2 回どっちもやる必要はない。15 点分 ・期末テスト(3 時間書きっぱなし) 60 点分
感想を自由記入	期末テスト、書きすぎて腕が疲れます。 個人課題、グループ課題共に興味深くてやりがいがあります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
French Language -Intermediate-		フランス語(中級)	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、会話、リスニングラボラトリー		
授業時間数	1週間に60分が4回		
担当教授	Dr. E.Natalie		
授業内容	英語でフランス語を学びました。中級でしたが、接続法や条件法など、内容は高度でした。		
試験・課題など	細かくテストと課題がある。10分程度のプレゼンあり。 こつこつやらないとついていけなくなる。 期末テストは3時間で25点分。		
感想を自由記入	自分の中では一番きつかったです。 英語でフランス語を学ぶので、留学生にとっては一石二鳥でオススメです、きついで覚悟してください。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Business		国際ビジネス	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義形式		
授業時間数	1週間に60分が3回		
担当教授	Dr. Grey		
授業内容	国際ビジネスの概略。		
試験・課題など	中間グループレポート(3500語以上)、オーストラリア企業を海外進出させる、というものの。30点 期末テスト(3時間書きっぱなし) 60点 毎週のチュートリアルの課題(500語くらい) 10点		
感想を自由記入	一番レポートを書いた授業です。 日本の企業もかなり紹介されていて、一番面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Trading and Investment Policy		国際貿易と投資理論	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義		
授業時間数	1週間に60分が3回		
担当教授	Dr. Tatyana		
授業内容	国際貿易の基礎を学びます。		
試験・課題など	中間テスト1 15点 中間テスト2 15点 期末テスト 30点 チュートリアルへの貢献 10点		
感想を自由記入	テストばかりでした。でもそんなに難しいものではないので、きちんと勉強すれば一番いい評価も夢ではないです。 先生がカザフスタン人で強いロシア訛りの英語を話すので、授業は復習しないと意味不明でした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	TOEFL 受験
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	面接、合格
2013年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL 再受験 アデレード大学から受け入れ許可、出発
8月～9月	オーストラリア、旅行等
10月～12月	帰国
2014年 1月～3月	就活開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	元々大学に在る間に長期で留学してみたいと思っていたからです。何故そう思ったかに関してですが、理由は大きく分けて二つあります。一つ目は、大学入学前から将来は海外と関わる仕事がしたいと思っていたからです。そのためにはある程度の外国での生活を経験することは必須であると思っていたので、留学することを希望しました。二つ目としては、日本を出て生活してみたいという気持ちがあったからです。一度しかない人生、日本という島国のみで終わるというのはあまりにももったいないという考えがあり、また仕事に縛られずにのびのびと海外で生活できるのは大学時代しかないと思っていたので、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力と言われればそうですが、その中でも日本にいる時から映画などでもう少しネイティブの音に慣れておけばよかったですと思います。正直な所、ネイティブの音は TOEIC、TOEFL の点数が良いからと言って聞こえてくるものではないと私は考えます。試験対策だけではなく、映画などの '生' の音を聞いておくことをオススメします。また、日本のことを紹介できるくらいに調べたりして知っておくと、友達を作るときに苦労しないと思います。
この留学先を選んだ理由	元々違う大学に行く予定だったのですが、相手側の事情で直前で受け入れ拒否されてしまいました。そこで、明治大学のオーストラリアの協定校の中から違う大学を探していくうちに、私の成績、資格試験等の点数で行ける可能性が高いのはアデレード大学ということが分かり、無事に選考を突破してアデレード留学という形になりました。オーストラリアを選んだ理由ですが、日本と経済の構造が全く違うというのは建前で、実際は留年せずに就職活動に間に合う英語圏の留学先という条件に合ったからです。
大学・学生の雰囲気	アデレード自体が田舎町でとても穏やかであり、そのためか学生もとてもほんわかしていて穏やかな印象があります。オーストラリアアイビーリーグの一角ともあって、学生たちは普段はとても真面目で頭が良さそうに見えますが、昼間から大学内の Bar で騒いでいる学生がいたり、授業中居眠りしている学生がいたり、様々です。大学に関しては明治大学の敷地の3倍くらいの広さにたくさんの建物があり、授業間の移動が少し面倒だったりします。しかし、全体的に勉強に集中するには素晴らしい環境だと思うので、留学先としてはオススメです。
寮の雰囲気	寮には私一人しか日本人がいなかったので、語学的にはいい環境でした。特に学生の交流目的のイベントなどは開かれていませんでしたが、キッチンが一つしかないので友達は必然的にできます。住んでいる人の割合的には、ブラジル人、インド人、中国人が大半で、学生が80%くらいを占めていました。私は入居して1カ月くらいで仲の良い友達ができ、そのメンバーでバレーボールや映画鑑賞会などをして交友を深めました。帰国前日に友達がさようならディナー会をしてくれた時は感無量でした。
交友関係	当初は留学生仲間と遊びに行ったり、ご飯を食べたりしていましたが、野球チームに入ってからオーストラリア人との交流も増えました。最初の3カ月は日本語は話さないというポリシーを持って日本人と話すことを避けていましたが、現地の日本人のありがたみに途中で気づき、日本人、留学生、ローカルの人々共に仲良くやっていました。2週間の休暇の間に多国籍の10人程で車でケアンズまで出かけたのは、今でも最高の思い出になっています。
困ったこと、大変だったこと	出国前の留学先大学からの住居サポートメールを完全に見落とし、最初の数日住居探しを0からやっていたかなければならず、大変でした。帰国後、住居管理者と敷金についてもめました。結局向こうの勘違いで大丈夫でしたが、危うく無駄なお金をとられるところでした。とにかくすべての物価が高く、お金の管理は大変でした。
学習内容・勉強について	国際ビジネスと国際経済学の授業をとる予定でしたが、アデレードの前にフランスにいたので、急遽フランス語も追加することにしました。どの授業も毎週課題が出る上、予習が大変なので苦労しました。チュートリアルという少人数制のクラスがあるのですが、そこである程度仲の良いクラスメイトができると思うので、彼らと協力しつつ頑張りました。留学生の中に経済専攻の人が多く、同じクラスをとっている人がいたため、彼らとも協力しました。
課題・試験について	課題は毎週出ますが、毎日コツコツやれば大丈夫だと思います。中間試験前などは図書館がお友達状態になるのですが、図書館に X-box があって友達とリフレッシュにゲームしたり、寝れるスペースがあって仮眠が取れたりするので、これらをうまく活用すればそこまで辛くはないと思います。期末試験は別格で、2,3時間延々と書かされる上、学期中に学んだことをまんべんなく出題してくるので、準備をきちんとやらないとまずいと思います。この準備ですが、SWOT と呼ばれる試験準備用の一週間の休みがあるので、あまり心配する必要はないと思います。(日々の勉強は必要ですが)

大学外の活動について	野球チーム、ソフトボールチームに所属しました。野球チームでは、3 戦目から投手を任せられ、チームの冬季リーグ優勝に貢献しました。外国人の友達とのコミュニケーションが一番大事にしていたので、できるだけ彼らと一緒にいるようにし、円強と勉強の合間をぬっては彼らと遊んでいました。
留学を志す人へ	これから留学しようとしている方に、私からのアドバイスはとして二つほど書かせて頂こうと思います。一つ目は「日本人で固まるな」です。逆の立場で置き換えてみてください。日本で外国人がその国の人だけで固まっていれば、悪い気はするかもしれませんがいい気はしないと思います。それと同じで、日本人で固まると外国人は距離を置くか、もしくは嫌われてしまいます。また、日本人とたまに話すのは OK だと思いますが、日本語を封印すると思っただけより精神的につらいので、メンタリティー強化につながります。二つ目は「楽しむ」です。せつかくの留学、楽しまないで損です。確かに勉強はツライです。しかし、やれないことはないです。その勉強すら友達と一緒にやることなどを通じて「楽しみ」にかえてしまうことだってできます。また、留学の楽しみとして勉強以外の時間を自由に使えるということがあると思うので、その空き時間をしっかりコーディネートして、自分なりに「楽しい」留学にしてください。それでは、Good Luck!!

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	自由時間	予習	予習	授業		
					授業	野球	
午後	授業	予習	授業	授業	復習	野球	旅行・勉強等
	授業	授業	復習	授業	予習	野球	
夕刻	復習	授業	復習	勉強	自由時間		
夜	友達と夕飯	復習	復習	勉強後、友達と遊ぶ	寮の友達と話す	友達と遊ぶ	